

館山塾報



〒101-0061

東京都千代田区三崎町二一十八ー九
 Tel (〇三) 三二六四ー八六三八
 Fax (〇三) 三二六四ー八六三六
<http://www.tateyamajuku.com/>
 館山塾

contents

予定表・冬期講習……………	1面	冬期講習時間割……………	2面
「負の感情も「負」から「正」へ」……………	3面	高校入試情報……………	4面
高校合格者の声……………	5面	受講料のお知らせ……………	6面

十二月～二月の予定

中学生クラス

11月28日(日)……………	第五回中三テスト演習
12月13日(月)……………	平常講義終了
12月14日(火)～17日(金)……………	中三オプシヨン講座
12月18日(土)……………	休講
12月19日(日)～22日(水)……………	中三オプシヨン講座
12月23日(木)……………	冬期講習
12月24日(金)……………	休講
12月25日(土)～28日(火)……………	冬期講習
12月29日(水)……………	休講
12月30日(木)～31日(金)……………	中三正月特訓前半
1月1日(土)……………	休講
1月2日(日)～3日(月)……………	中三正月特訓後半
1月4日(火)～6日(木)……………	冬期講習補講期間
1月7日(金)……………	中三オプシヨン講座
1月8日(土)……………	冬期講習総合試験
1月9日(日)……………	休講
1月16日(日)……………	平常講義開始
1月23日(日)……………	テスト演習個別指導
2月6日(日)……………	テスト演習個別指導
2月19日(土)……………	進級試験(除中二)
2月26日(土)……………	中三平常講義終了
	中一・二平常講義終了

お知らせ

★中三正月特訓講座の開設

直前期カリキュラムの一環として、全員参加を原則としています。入試演習のタイプ、選択講座を各自が選択する形式です。選択講座の詳細は、教室でお渡しする申込用紙を参照して下さい。

★高一への進級に際して

中三生は、来年度、優先的に高一クラスへの進級資格があります。進級試験は、高校入試日程終了後に受験して戴きます。別途申込は必要ありません。

★平常講義の終了日

中一・二は2月26日、中三は2月19日となります。

中学生保護者面談

既にお知らせ致しました通り、中学生の個人面談は、10月26日～11月1日の休講期間中に実施致しました。なお、中三の受験相談は随時行いますので、ご希望になる場合は、直接、担当講師までご連絡下さい。

中三テスト演習

九月より、中学三年生を対象に、入試総合特訓のための、テスト演習を実施しています。

期日 11月28日(日)：第5回

個人成績票に関して

- 第3回よりタイプ別に合格可能性を表示しています。
- 80%以上＝確実
- 60%＝合格圏
- 30%＝可能性はあるがもう一歩、といった数字です。

☆科目毎の判定

・科目毎の判定(A・B)はそれぞれの科目の絶対評価を示し、棒グラフは科目の偏差値で、受験者内での位置を示します。苦手科目を的確に把握し、その克服に努めましょう。

※テスト演習総まとめの個別指導

期日 1月9日(日)・16日(日)・23日(日)
 内容 直前期の弱点補強、面接練習、勉強会などを行います。詳細は、担当講師から通知します。

△▼△▼ 冬期講習のお知らせ ▲▼▲▼

講習 12月23日(木)・12月25日(土)～28日(火)

補講 1月4日(火)～6日(木)

総合試験 1月7日(金)

科目 中一・二：英数国三科目、5日間、80分授業

中三：英数国(理社選択)、5日間、80分授業

十各学年 補講3日間

★中一・二は、一部平常とは異なるクラス編成となります。各自のクラス及び補講の教室割等は、後日配布されるクラス決定通知書を参照して下さい。

★総合試験の時間割は講習時間帯と異なりますので、後日配布の受験票で確認して下さい。

★講習終了後、平常講義は、翌々日の1月9日(日)から始まります(1月8日(土)は休講です)。

※中三のみ、希望制のオプション講座があります。オプション講座の詳細は、同封の申込用紙を参照して下さい。

中三正月特訓のお知らせ

冬休みの期間中、講習期間とは別に、受験生を対象とした特訓講座を開設します。例年、この時期の集中学習によって大きな成果が上がっています。正月特訓は年間カリキュラムの環境として、全員参加を原則としています。

期間 12月30日(木)～31日(金)及び1月2日(日)～3日(月)の四日間

時間 午前9時20分～午後3時50分(昼休み12時10分～1時)

内容 英数国のタイプ別入試演習、及び5教科からの選択講座。

選択科目・講座申込

教科数、演習タイプ、選択講座が、各自の志望に応じて自由に選択できます。教室でお渡ししている申込用紙に必要事項を記入の上、申し込んで下さい。平常、理社を受講していない諸君も、5教科選択をすることができます。

冬期特別講習時間割 中学生 【12/23・12/25～28】

	12/23・12/25～28		
9:20～10:40	中1 英語B	中2 数学A 中2 国語B	中3 社会A
10:50～12:10	中1 国語A 中1 数学B	中2 英語A 中2 数学B	中3 英語A 中3 国語B
13:00～14:20	中1 数学A 中1 国語B	中2 国語A 中2 英語B	中3 数学A 中3 英語B
14:30～15:50	中1 英語A		中3 国語A 中3 数学B
16:00～17:20			中3 理科A 中3 社会B
17:40～19:00			中3 理科B

▲▽ 「負の感情」も「負」から「正」へ。 ▽▲

胡子俊英

人の気に障ることをして怒らせてばかりいる人、怒りを他人にぶつけることばかりする人、こうしたことは、「短気は損気」と言って、古来エネルギーの無駄と言われて避けられてきたことですが、近年、こうした性癖を持った人が増えているようです。キレ易い人が増えているという話もよく聞きます。なぜこうした無駄を敢えてするのでしょうか。

ADD（注意欠陥障害）の研究者が指摘しているのは、こうした「怒り」が、前前頭皮質の働きが活発でないADDの患者にとって、実は脳を活性化させるために有効な契機となり得るということです。そのために、ADD患者は、無意識のうちに自分の脳の働きを活性化させて気分をすっきりさせたいがために、繰り返し怒りのエネルギーを利用する傾向があり、結果的に周囲をいらつかせることが多くなるということです。

（『わかっているのにできない脳1』ダニエル・G・エイメン著）

考えてみれば、私たちもたまには怒りを爆発させることで、ストレスを発散させている傾向はあるかも知れません。これは従来の分析心理学の理論でも、意識と無意識のバランスを取るために、意識の態度があまりに怒りを無意識内に抑圧し過ぎると、ある日限界を越えて爆発するという説明もありましたが、怒りと共に分泌されるアドレナリンが、脳内の活性化を促すというこの説はなかなか示唆的です。

世の中には、可哀想なほど悲観的な人もいます。プロゴルファーが池越えのホールでも池は見ずにグリーンだけ意識するのに対して、素人は池ばかりを気にして結果的に池に落とすことが多いように、マイナスのイメージが行動に及ぼす悪影響については周知の事実となっているにも拘わらず、悲観的なイメージから逃れられない人がいます。

成功すると思っていて失敗すると、その落差によるダメージが大き過ぎるから、できる限り悲観的に考えようとするのだ、と自己分析する人もいます。

しかしこれなども、最悪の事態をとことん考えていくことで、極度の緊張状態に陥って、結果的に脳内ホルモンが分泌することで、脳を活性化させたり快感を覚えたりするということがあるのかも知れません。そうでもなければ、あれだけ気分を憂鬱にすることを繰り返し習慣的に行えるはずがありません。

マラソンとか登山といった、それ自体苦しいことが、なぜ人を惹きつけるのかも、同様に脳の仕組みから理解できます。身体を酷使することで初めて分泌される脳内物質のおかげで、人は快感を得る仕組みができています。

それならということで、脳内物質を制御しようという方向に現代医学は進んでいくのですが、高齢化が進む日本社会において、ただでさえ医療費が拡大しているのに、これ以上医療にお金をかけるのは得策とは言えません。解決のヒントは先のADDの研究者の説の中に既に示されています。

人が普通は嫌がる「怒り」や「緊張」や「ストレス」でさえ、実は捉え方によっては自分を鼓舞する契機にできるということです。但し、怒りに身を任せてしまえば制御が利かなくなりますから、ほどほどにして、エネルギーが湧いてきたら、本来の仕事に戻ればいいのです。『怒り』『緊張』は起爆剤としてだけ利用して、そのエネルギーを有効利用する。一見難しそうなことですが、実を言いますと、我々の仕事というのがまさにこの連続だったのではないかと、とはたと思い当たった次第なのです。

先日、生徒のお父さんと面談をしたのですが、実はそのお父さんも昔の教え子の一人だったのです。後で漏れ聞いたところでは、「胡子先生はどうして年を取らないんだろう。何か術でも使っているのだろうか」と仰っていたそうです。「術」というのは実は、この「怒りエネルギーからアドレナリンを抽出する術」だったのかも知れません。

▲▽ 高校入試情報 ▽▲

熊倉幹男

来春の都立入試もきびしくなりそうです

ここ数年都立高校の志望者が増えていますが、これは景気低迷により公立志向に傾いていることでもあります。都立改革の成果が表れてきていることも大きな要因のように思われます。実際、日比谷高校の東大合格者数 36 名、西高の国公立医学部の合格者数が開成を上回る、(都立)国立高校は同じ地区の名門私立桐朋高校の合格実績を大きく引き離すなど、実績の面で私立に引けをとらない状況が見られています。これは上位都立高ばかりではなく、中堅都立高にも言えます。

今春の都立入試では、中学 3 年生が前の年より 4000 人増に対して定員は 1500 人増にとどまったため、過去最高の倍率 1.44 倍となり一般入試の不合格者は 12500 人を超えるという、今までの都立高入試にはない厳しいものになりました。来春は中 3 が前の年より 2900 人減ですが、定員が 1890 人も減少することが確定しています。さらに海城高校が募集を停止しましたので、男子の上位 125 名が都立上位高に流れることも合わせますと、今春以上に厳しい入試になることが予想されます。

こういう状況ですから、中 3 の受験生諸君は日々の学習を精力的にこなして実力をつけること、あと 1 回の定期試験に真剣に臨むこと、そしておそれることなく現実に立ち向かう勇気を持つことが必要です。残された一日一日を計画的に有意義に過ごしていきましょう。また、中 1、中 2 の諸君も次は自分の番だという意識をしっかりと持って日々の学習に励んでください。

埼玉県教育委員会の発表

埼玉県教育委員会は、県内の中学生が県外、おもに東京都の私立高校に進学しないようにいろいろ方策をとっています。東京都の私立高校の推薦入試に対して、中学校長が推薦書を書かないというのはその一例です。今年 7 月の県教委の発表によりますと、「埼玉県在住で埼玉県の私立高校に進学した場合、年間 30 万円の学費補助」を再来年から実施するということです。来年入学したとしても 2 年生からは補助が出るということですから、埼玉県の中学生は私立高校に進学がしやすくなったと言えます。

埼玉県の話ですから我々にはあまり関係のないことですが、ここからの話が大切です。「埼玉県の私立高校に進学した場合」に補助は出ますが、「東京都の私立高校に進学した場合」は補助は出ないわけです。ということは、埼玉県から多くの生徒が通っている板橋区、北区、豊島区、足立区の私立高校は生徒募集に大打撃を受けると思われます。したがって、これら私立高校は来春から門戸を広げざるを得ないので、すでに発表されている併願の基準等は下げてくる可能性が十分考えられます。

すでに危機感を抱いている私立高校は、「基準に足りなかったら、学校内の活動だけではなく町内会の活動などアピールできることがあったら何でも言って下さい。加点します。それでも 1 点か 2 点足りないようでしたらご相談下さい。」と説明会で言っていました。発表されている基準に足りないからと言ってあきらめず、入試相談で話をよく聞いてみましょう。

▲▼ 高校合格者の声 ▼▲

卒業生からのアドバイス

石塚レネイさん（東京文化中）

ICU高校合格

青山学院高校合格

渋谷幕張高校合格

小川敬弘君（麴町中）

都立北園高校合格

淑徳巣鴨高校合格

西山裕二君（本郷台中）

東京工業大学高校合格

東洋高校合格

廣岡佑子さん（墨田中）

お茶の水女子大学附属高校合格

豊島岡女子学園高校合格

山本君司君（文京第六中）

海城高校合格

本郷高校合格

吉田岳人君（文京第十中）

筑波大学附属高校合格

城北高校合格

中3の冬休み

・一日中勉強。（石塚さん）

・過去問のやり直し。（小川君）

・過去問をあさる。（西山君）

・各教科の総復習と過去問を解く。（廣岡さん）

・英語の自習学習教材をすぐやる。（山本君）

・過去問をやり始めたけれど、冬期講習で忙しくてあまりできなかった。（吉田君）
 ・ほとんど講習で一日が終わってしまうので、塾の教材を確実にこなすことに専念する。

中3の直前期

・過去問をやる。（石塚さん）

・間違った箇所の見直し。（小川君）

・冬休みに引き続き過去問。（西山君）

・過去問の復習と体調管理。（廣岡さん）

・自信をつけるために過去問をやりまくる。（山本君）

・過去問が終わっていないなかったので、ずっと過去問をやっていた。（吉田君）

・第一志望だけでも二十年分位の過去問は解きました。体調に気をつけ、マイペースに勉強を続けました。

・都立では受験生が案外うるさかった。

・過去問題集では点が取れた教科も、本番だとなかなか取れない。（小川君）

・会場の前にいる他塾の関係者の人が怖かった。

・周りに座ってる人がすごく頭良さそうに見えた。

・お茶の水の英語のリスニングが15分くらいあって長かった。（廣岡さん）

・問題形式が変わっていてもビビらずにやる。（山本君）

・入試前日の夜は、寝る前に勉強すると眠れなくなるので、やめた方がいい。（吉田君）

・カイロは持っていた方がいいです。

試験当日

面接情報

・筆箱のなかに「館山鉛筆」がいるだけで安心できた。
 ・会場はピリピリした雰囲気、みな近寄るな、というオーラを出していた。少し怖かったが、逆に「やってやろうじゃん」という気持ちになって良かったと思います。

・試験の会場は普通の教室。教室に時計はひとつしかなく、電気の反射によって見えなかったり、角度的に見えなかった人が何人かいた。だから時計はもつていった方がいい。

・受験してみても気がつくのは、都立ではやはり理社の力が重要だということ。上位になればなるほど受験者の理社の点数は満点近くになっているし、とても重要です。私も3教科の点数を理社でカバーしてもらいました。

・都立は浅い。が、国立はえぐってくる。（西山君）

・質問には冷静に答えよう。相手の目を見て！

・聞かれたことは…

「勉強の合間にやっていることは何ですか？」

「好きな教科は何ですか？」

「部活は何をやっていましたか？」

「高校に入って一番やりたいことは何ですか？」

「中学で一番がんばったことは何ですか？」

「中学で一番思い出に残っていることは？」

・自己PRカードに書いたことについて詳しく聞かれた。

【氏名のないものは一昨年以前の先輩からのアドバイスです】